

現代日本における消費・娯楽の空間と社会階層に関する研究  
—「多様化する消費生活に関する調査」を通じて—

陳 蕭蕭 (流通経済大学 社会学研究科)

本報告は現代日本における消費・娯楽の空間と社会階層に関する研究である。消費・娯楽の空間はいまになって、誰でも消費できるように仕向け、社会階層との関連性が低くなっていると見せられているものの、正規雇用制度の崩壊や高度情報サービス産業の形成と共に、職業指標による社会階層の格差が拡大している。そのような状況のなかで、消費・娯楽空間は本当に社会階層との関連性が希薄化になっているのか、もしそうっていないとすれば、どのような関連性が現われているのかを明らかにする。

本研究では消費・娯楽の空間は商店街・大型ショッピングセンター・アウトレットモール・テーマパーク・複合消費施設に分類される。各消費・娯楽の空間と社会階層の関係は以下のように想定する。すなわち、サービス正規雇用者であるほど複合商業施設を利用し、サービス非正規雇用者・非サービス正規雇用者・自営業者は比較的に大型ショッピングセンター・アウトレットモール・テーマパークを利用し、非サービス非正規雇用者は比較的に商店街を利用する傾向がある。また、社会階層が低いほど、消費・娯楽の空間を利用する範囲が狭くなると考えられる。

本報告は2010年東京首都圏で実施された「多様化する消費生活に関する調査」のデータの分析を通して検証していく。その際、まず、第1節において消費・娯楽の空間と社会階層を整理、考察する。第2節では、社会調査のデータと変数を紹介する。第3節では、社会調査データを通して、職業指標による社会階層の格差を明らかにする。その際、職業の指標で作られた七つの社会階層(サービス正規雇用・サービス非正規雇用・非サービス正規雇用・自営業・非サービス非雇用・無職・農業)と年齢(年代)・学歴(大学・大学院、高校・専門学校、中学以下)・年収(200万未満、200万-400万未満、400万-800万未満、800万以上)をクロスして、無職と農業を除く五つの社会階層を分析する。第4節では、社会調査データを通して、消費・娯楽空間の重回帰分析を行う。重回帰分析を行う際に、年齢・性別・子供の有無・配偶者の有無・郊外在住といった基本属性をコントロールしながら行う。その次に、教育年数(年)、個人年収、社会階層の変数を順次投入する。本稿は社会階層の効果の分析を焦点とするが、そのほかに、教育年数の文化資本による消費・娯楽空間の効果、個人年収の収入による消費・娯楽空間の効果をも分析する。

結果からいうと、社会階層の格差による消費・娯楽空間の利用する傾向とその範囲は異なることを検証することができた。また、教育年数と個人年収の格差も、消費・娯楽空間を利用する際に影響を与えることが確認された。

## 参考文献

### 日本語

- A. Bryman, *The Disneyization of society*. 能登路雅子監訳、森岡洋二訳、『ディズニー化する社会：文化・消費・労働とグローバリゼーション』、明石書店、2008。
- J. Baudrillard, 1970, *la Societe de Consommation: Ses Mythes, Ses Structures*, Editions Gallimard. 今村仁司・塚原史訳、1979、『消費社会の神話と構造』、紀伊国屋書店。
- H. Lefebvre, 1991, *The production space*. 齊藤日出治訳、2000、『空間の生産』、青木書店。
- 初田 亨 『繁華街の近代：都市、東京の消費空間』、2004、東京大学出版会。
- 根橋 正一 『ポスト観光時代の観光を構想する』、2008、流通経済大学社会学部論叢 Vo.1.18。
- G. Ritzer, 1993, *The McDonaldization of Society*, Pine Forge Press. 正岡寛司訳、1999、『マクドナルド化する社会』、早稲田大学出版部。
- G. Ritzer, 2005, *Enchanting a disenchanted world: revolutionizing the means of consumption*. 山本徹夫、坂田恵美訳、『消費社会の魔術的体系：ディズニーワールドからサイバーモールまで』、明石書店、2009。
- W. Soja, 1996, *Thirdspace, First Edition*. 加藤政洋訳、2005、『第三空間：ポストモダンの空間論的回転』、青土社。
- J. Urry, 1990, *The tourist gaze : leisure and travel in contemporary societies*. 加太宏邦訳、1995、『観光のまなざし：現代社会におけるレジャーと旅行』、法政大学出版局。
- J. Urry, 1995, *Consuming places*. 吉原直樹、大澤善信訳、2003、『場所を消費する』、法政大学出版局。
- 犬塚先編、2003、『新しい産業社会学—仕事を通してみる日本と世界』、有斐閣。
- 今田高、1979、『社会階層と社会移動—1975年SSM全国調査報告書—社会的不平等と機会均等の趨勢分析 1955-1975』。